

Press Release

2023年5月25日

グローバルヘルス技術振興基金(GHIT Fund) 第三期の資金拠出について

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:岡村 直樹、以下「アステラス製薬」)は、公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金(以下「GHIT Fund (Global Health Innovative Technology Fund)」)の活動の第三期に対し、資金拠出を行うことを決定しました。アステラス製薬を含む GHIT Fund の資金拠出パートナーによる第三期へのコミットメントは、2 億米ドル以上の規模となる見込みです。なお、アステラス製薬は GHIT Fund 発足時から 3 期連続で資金拠出をしています。

GHIT Fund は、結核、マラリア、顧みられない熱帯病^{*1}などの、特に貧困国の人々を苦しめる感染症の制圧を目指して、日本の技術、知見、イノベーションを用いた治療薬、ワクチン、診断薬の開発を目的として 2013 年に設立されました。日本政府(外務省、厚生労働省)、民間企業、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、英国の財団であるウェルカム、国連開発計画が参画するグローバルヘルスの製品開発に特化した日本初の国際的な官民ファンドです。

GHIT Fund は、この 10 年間で約 115 件のプロジェクトに対して、約 291 億円の投資を行っています。官民連携の仕組み作り、日本の創薬技術・イノベーションを生かした研究開発、診断薬開発への投資など、直接的かつ効果的な活動を行ってきました。

アステラス製薬の代表取締役社長 CEO である岡村 直樹は、「アステラス製薬は、第一期から参画している GHIT Fund を通じて保健医療へのアクセス(Access to Health:ATH)課題の解決に取り組むとともに、GHIT Fund が資金提供している小児用プラジカンテル・コンソーシアム^{*2}に参画しています。コンソーシアムでは、就学前児童に対する新たな住血吸虫症小児用治療オプションの開発を目指しており、当社独自の製剤技術やノウハウをコンソーシアムへ提供し、本開発に貢献しています。さらにアステラス製薬は 2017 年よりパートナーと共にマラリアに対する新規治療薬の研究を支援し ATH 課題解決に取り組んでいます」と述べています。

以上

*1: 顧みられない熱帯病 (Neglected Tropical Diseases:NTDs)について

世界保健機関(WHO)によると、顧みられない熱帯病(NTDs)は、主に熱帯、亜熱帯などの国と地域でまん延する感染症で、16億人を超える人々が NTDs により健康を害していると推定され、毎年数十億ドルもの経済的損失があるとされています。衛生環境が十分に整っていない地域や、感染を媒介するベクターや家畜などに接する機会が多い世界の貧困層が NTDs の影響を受けています。現在、次の 20 疾患*が WHO により NTDs として定義されています。

*WHO が定義する NTDs: ブルーリ潰瘍、シャーガス病、デング熱・チクングニア熱、メジナ虫症、エキノコックス症、食物媒介吸虫類感染症、アフリカ睡眠病、リーシュマニア症、ハンセン病、リンパ系フィラリア症(象皮症)、マイセトーマ、オンコセルカ症(河川盲目症)、狂犬病、疥癬その他の外部寄生虫病、住血吸虫症、土壌伝播寄生虫症、毒蛇咬傷、囊虫症、トラコーマ、トレポネーマ感染症(イチゴ腫含)。

*2住血吸虫症と小児用プラジカンテル・コンソーシアムについて

住血吸虫症は主にサハラ以南アフリカの熱帯諸国に多い寄生虫感染症で、特に小児の罹患率が高い疾患です。標準的治療薬であるプラジカンテル錠は、錠剤の大きさや薬剤の苦みなど、乳幼児を含む就学前児童には服薬が難しいという課題があります。アステラス製薬は、[コンソーシアムパートナー](#)とともに、就学前児童における新たな住血吸虫症小児用治療オプション、arpraziquantel の開発に貢献しています。プラジカンテルを起源とする arpraziquantel は、苦みを低減する工夫が施された小型の口腔内崩壊錠です。この新しい製剤は最初のアステラス製薬が開発しました。arpraziquantel は、生産コストを抑えつつ、簡便な生産技術で製造することができ、熱帯地域の高湿多湿な環境でも安定性の高い錠剤です。アステラス製薬は、arpraziquantel の開発技術やノウハウをブラジルの委託製造先に移転し、現地の医薬品製造における能力構築を支援しています。2022 年 12 月には、arpraziquantel の承認申請を欧州医薬品庁(EMA : European Medicines Agency)が受理し、審査を開始しました。

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社
コーポレートアドボカシー&リレーションズ部
TEL: 03-3244-3201